

令和7年度 学校自己評価システムシート（花咲徳栄高等学校）

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」の理想を掲げ、校訓「今日学べ」を推進し、生徒一人一人の内在する可能性を開発するとともに、多様な人々と協働しながら時代の変化を乗り越え、社会に貢献できる人材を育成する。
--------	--

評価	A	高評価
	B	良好
	C	概ね良好
	D	要努力

重点目標	1 学習指導（創造する知性の育成）
	2 生徒指導（人間性豊かな徳操の涵養）
	3 進路指導（内在する可能性の開発）

学校関係者	12名
教職員	15名

学校自己評価							
年度目標				年度評価（3月）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】 各学期の成績優良者数は増加し模試においても順調に成績を伸ばしている。また、iPadの授業時の使用率が上がっている。</p> <p>【課題】 家庭学習時間の少なさが見受けられる。ICT教育の推進・協働学習の質の向上を通して、学ぶ意欲の醸成が課題である。</p>	(1) GTZ値でのBランク以上の生徒数の割合 (R6 Sランク 0%、Aランク 2%、Bランク 19%)	① 授業以外の学習取組を指導 ② 教材研究の実施・学習指導力の研修 ③ 小テスト・考査等の実施 ④ 二者面談・三者面談の実施	① 授業以外の学習状況 ② 学習指導力の改善状況 ③ 小テスト・考査等の実施状況 ④ 二者面談・三者面談の実施状況	(1) GTZ値で、Sランク 0.2%、Aランク 2.8%、Bランク 28%と微増し、学力向上の成果が見られた。 ① 2極化が見られる ② 改善良 ③ 予定どおり実施 ④ 年4回実施	B	ICT教育を推進している中、教員同士が相互に授業見学し、指導力向上に努めている。また、希望大学合格目指して、一生懸命勉強する生徒がいる反面、授業以外での学習をほとんどしない生徒がいる。勉強する面白さ、楽しさを実感できる指導の継続とともに、学習支援ツール(Classi)の更なる活用が課題である。
		(2) ICT教育・協働学習・CBTの実践による更なる授業改善	① タブレット等の活用等ICT教育の推進 ② 協働学習の推進 ③ CBTの実施	① タブレット等の活用等状況 ② 協働学習の推進状況 ③ CBTの実施状況	(2) ICT教育・協働学習・CBT教育が全て8割を超え、授業改善が進み、概ね目標は達成できた。 ① 88.0% ② 82.7% ③ 84.3%	A	
2	<p>【現状】 生徒の多くは基本的な生活習慣を身につけ、本校生としての自覚を持ち、充実した学校生活を過ごしている。</p> <p>【課題】 ごく一部の生徒であるが、規範意識がままならず、して良いこととしてはいけないことが確立されず、問題行動につながっている。また、SNS上での人間関係トラブル対応も喫緊の課題である。</p>	(1) 問題行動の予防と早期対応	① 日々の生徒指導の実践 ② 生徒指導講話の実施 ③ 各種教育の実施	① 日々の生徒指導の実践状況 ② 生徒指導講話の実施状況 ③ 各種教育の実施状況	(1) 3月6日現在、生徒指導件数は昨年度比大幅減となった。生徒指導科と各学年が連携し、問題行動の予防と早期対応が功を奏した。 ① 整容指導始め日々指導を実践 ②・③ 予定どおり実施	A	<p>純粋でまじめな生徒が多くいる中、善悪・行動可否の判断に甘さがある生徒もいる。また、SNSでのやりとりで、人の気持ちを慮ることができず、人間関係を阻害しているケースもある。さらに、進路確定後や新型コロナ感染時の影響などにより、安易に学校を欠席するケースも散見される。</p> <p>基本的な生活習慣の確立、社会で有為となる人物実現への自覚形成が課題である。</p>
		(2) 安全・安心な学校づくり	① 学校生活アンケートの実施 ② メディアリテラシー教育の実施 ③ スクール・カウンセラーの活用	① 学校生活アンケートの実施状況及び活用状況 ② メディアリテラシー教育の実施状況 ③ スクール・カウンセラーの活用状況	(2) 一部の生徒であるが、SNSを通じた友人トラブルがある。引き続き、安心・安全な学校づくりに努める。 ① 毎学期実施 活用も順調 ② メディアリテラシー教育(4/14)を実施 ③ 生徒延べ57名・保護者延べ24名	B	
3	<p>【現状】 担任をはじめ、学年や進路指導科の取組により、昨年度、国公立21名、GMARCH21名の進路実績であった。</p> <p>概ね、生徒・保護者の納得感のある進路確定であった。</p> <p>【課題】 一般選抜で挑戦していく生徒を指導・支援していくとともに、総合型選抜をさらに強化・支援していくことが課題である。</p>	(1) 進学実績 (R6 国公立 21名、早慶上理 0名、GMARCH 21名)	① 各種模試の実施 ② 各種資格試験の実施 ③ 進路講演会の実施 ④ 二者面談・三者面談の実施	① 各種模試の実施状況 ② 各種資格試験の実施状況 ③ 進路講演会の実施状況 ④ 二者面談・三者面談の実施状況	(1) 3月6日現在、国公立23名、早慶上理5名、GMARCH16名の合格者を輩出した。 ① 進研模試を6回実施 ② 漢・数・英検及び栄調検各2回実施 ③ アカデミックセミナー(11/19)等を実施 ④ 二者面談4回・三者面談2回実施	B	<p>3年生の進路実績については、概ね希望進路が実現できている状況にある。しかし、過去の実績と比較すると、学年全体の入学時学習習得状況もあり、本校が掲げる進路目標との乖離が見られる。</p> <p>入学直後の早期自主学習の定着を図るとともに、3観点を意識した学習をさらに深めていくこと、総合型選抜対策として、何を学習したいのか、したのかを明確化、自覚化させることが課題である。</p>
		(2) 就職希望者の希望職種への就職実現	① インターンシップの実施 ② 就職説明会の実施	① インターンシップの実施状況 ② 就職説明会の実施状況	(2) 3月6日現在、学校斡旋就職決定者14名、公務員決定者4名等、就職希望者の実現は概ね達成できた。 ① 3年次 13名、2年次 21名体験実施 ② 就職説明会(5/31)実施	B	

学校関係者評価	
実施日	令和8年3月9日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な教科などにも興味がわいて、学習に取り組み、達成感を感じられるような授業をお願いする。 ・化学の先生のことをよく話す。プラネタリウムはとても感動したようだ。成績が優秀でなくとも、前向きに学習に臨んでいること、学校が楽しそうで、何よりと思う。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から生徒を気にかけてくれて、保護者として安心して通わせられる。 ・学校敷地から出た後も、制服を着用している場合は校則に従って行動して欲しい。電車内のクレームが時としてあるそうなので、社会的モラルを高めていただきたい。 ・次年度から自転車の規制が厳しくなる。学校で指導をしていただけて、大変ありがたく思っている。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・大変お世話になった。ありがとう。 ・大学合格や資格取得などの実績は、誇らしい限り。頑張る生徒を応援していただける環境の強化を引き続きお願いする。 ・2年生のため、まだ実感がないみたいだ。 ・1年生のうちから、就職をした先輩の話しを聞く機会があればと考えている。理系文系への選択など、より具体的に想像ができるから。 	